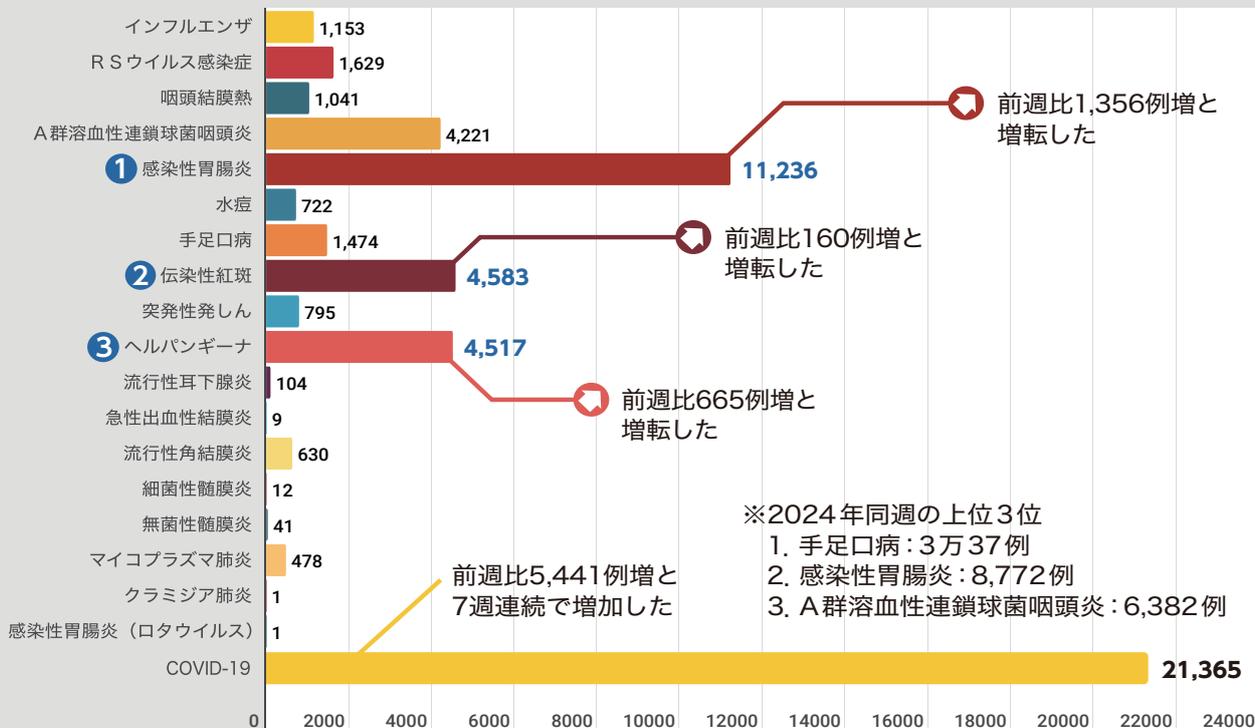




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

コロナ2万例超え、感染性胃腸炎が増転

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,428例
2. 大阪府: 697例
3. 埼玉県: 625例

定点当たりの報告数(4.77)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 群馬県: 9.28 | 4. 岐阜県: 8.19 | 7. 島根県: 7.64 | 10. 福岡県: 5.93 |
| 2. 愛媛県: 8.86 | 5. 大分県: 7.86 | 8. 山形県: 6.19 | 11. 福井県: 5.84 |
| 3. 石川県: 8.68 | 6. 奈良県: 7.79 | 9. 岩手県: 5.96 | 12. 埼玉県: 5.68 |

② 伝染性紅斑

報告数

1. 大阪府: 444例
2. 愛知県: 253例
3. 静岡県: 245例

定点当たりの報告数(1.95)

- | | | | |
|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 山形県: 6.04 | 4. 福岡県: 3.44 | 7. 石川県: 3.32 | 10. 奈良県: 3.04 |
| 2. 大分県: 4.06 | 5. 滋賀県: 3.43 | 8. 和歌山県: 3.22 | 11. 秋田県: 2.92 |
| 3. 群馬県: 3.68 | 6. 富山県: 3.41 | 9. 三重県: 3.09 | 12. 福島県: 2.89 |
- ※その他、16道府県が警報基準値(2.00)超え

③ ヘルパンギーナ

報告数

1. 大阪府: 515例
2. 東京都: 492例
3. 神奈川県: 215例

定点当たりの報告数(1.92)

- | | | | |
|--------------|---------------|--------------|---------------|
| 1. 宮崎県: 5.27 | 4. 滋賀県: 3.89 | 7. 熊本県: 3.17 | 10. 石川県: 2.71 |
| 2. 三重県: 3.98 | 5. 福井県: 3.68 | 8. 岡山県: 2.82 | 11. 山口県: 2.53 |
| 3. 香川県: 3.96 | 6. 鹿児島県: 3.32 | 9. 大阪府: 2.78 | 12. 京都府: 2.41 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は1,356例増と11週ぶりに増転した。伝染性紅斑は160例増と増転し、定点当たりの報告数が警報レベル(2.00)を超えた地域は、前週の27道府県から29道府県(山形県、大分県、群馬県、福岡県、滋賀県、富山県、石川県、和歌山県、三重県、奈良県、秋田県、岐阜県、福島県、栃木県、静岡県、新潟県、島根県、宮崎県、愛知県、茨城県、宮城県、佐賀県、大阪府、広島県、福井県、長野県、北海道、愛媛県、兵庫県)に拡大した。ヘルパンギーナは665例増と増転した。COVID-19は5,441例増と7週連続で増加し、2万例を突破した。定点当たりの報告数は、宮崎県(14.07)が最も多く、沖縄県(12.73)、鹿児島県(12.68)、熊本県(9.58)、佐賀県(8.75)、千葉県(8.27)、埼玉県(7.92)、茨城県(7.40)、福岡県(7.33)、神奈川県(7.29)と続いた。